

オミクロン株対応ワクチンの接種について

1 オミクロン株対応ワクチンの接種について

(1) 接種対象者

1・2回目接種を終えた方のうち、前回接種から3か月以上（※）が経過した12歳以上の方

【接種間隔の短縮】

国では、年内に接種対象者全員がオミクロン株対応ワクチンの接種を受けられるよう接種体制を整備するとしており、これまで5か月としていた接種間隔を、10月21日から3か月に短縮したところ。

市町村では接種券を順次発送していくとともに、県においては、ホームページやSNSを通じて、広く県民に接種間隔の短縮を周知していく。

【接種対象者と接種可能なワクチン】

前回までの接種状況		次回のワクチン接種		
前回までの接種回数	前回に接種したワクチン	接種回数	接種可能なワクチン	前回からの接種間隔
未接種	未接種	1・2回目	従来株対応	3か月
1・2回目	従来株対応	3回目	オミクロン株対応	
3回目	従来株対応	4回目	オミクロン株対応	接種は不要です
	オミクロン株対応			
4回目	従来株対応	5回目	オミクロン株対応	3か月
	オミクロン株対応	接種は不要です		

※ 現時点でオミクロン株対応ワクチン（BA.1 又は BA.4-5）の接種は1回限りとされている。

(2) 接種対象者数

県内では、年末までにオミクロン株対応ワクチンを接種できる対象者が約103万人となっている。

県や市町村では、希望する全ての方が年内に接種できるよう、医師会や医療機関と連携し、十分な接種体制の確保に取り組んでいく。

(3) ワクチンの供給量

本県には、9/19の週から11/21の週までに、ファイザー社2価ワクチンが約91万回（うちBA.4-5対応約63万回）、モデルナ社2価ワクチン（全てBA.1対応）が約9万回、合計では約100万回が供給されることとなっている。

(4) オミクロン株対応ワクチンの効果

オミクロン株対応の2価ワクチンは、BA.1対応型とBA.4-5対応型の2種類がありますが、国では、いずれのワクチンも従来株対応の1価ワクチンを上回る重症化予防効果などがあるとしており、いずれか早く接種可能なワクチンにより接種をお願いします。（別紙厚労省資料を参照）

なお、それぞれのワクチンの接種日程は、お住まいの市町村の広報誌やホームページ等で御確認ください。

2 県の集団接種について

(1) 団体予約の受付

現役世代や若年世代のオミクロン株対応ワクチンの接種の促進を図るため、**接種対象者を2名以上確保**できる県内の企業、団体、大学、専修学校、その他のグループ等（任意団体、大学のサークル等）を対象に**団体予約の受付**を行っている。

（これまでの概ね50人以上の要件を緩和し、**対象範囲を大幅に拡充**）

(2) 集団接種の実施予定

県の集団接種では、年内の接種完了に向け、ファイザー社2価ワクチンの活用など**県民のニーズを踏まえた接種機会の確保**について検討を進めていく。

【オミクロン株対応ワクチンの接種実績】

接種期間	使用したワクチン	予約枠	接種回数	接種率
9/24～10/23	モデルナ社2価ワクチン	6,320回	2,751回	42.5%

【今後の実施予定】

接種日 (接種会場)	予定回数		予約状況 (10/21(金)9時現在)	
			予約人数	予約率
11/5(土), 6(日) (ツガワ未来館アピオ)	2,400回程度	一般 900回程度	644人	26.8%
		団体 1,500回程度		
11/19(土), 20(日) (ツガワ未来館アピオ)	1,800回程度	一般 800回程度	207人	11.5%
		団体 1,000回程度		

※ 12月以降の県集団接種は、市町村の接種の進捗状況や国の動向を踏まえ、検討していく。

3 その他

国では、**生後6か月から4歳を対象**とした従来株対応のワクチンによる**乳幼児接種が10月24日から開始**したところであり、希望する方が早期に接種できるよう、医師会、医療機関、市町村等の連携による**広域的な接種体制の確保**に取り組んでいく。

(参考) 新型コロナワクチンの年代別接種状況

区分	接種回数	接種状況 (10月18日時点)											
3回目接種 (従来株)	894,185	・県内の全人口約120万6千人のうち、従来株対応ワクチンによる 3回目接種率は74.1% となっている。 (単位:%)											
		5～11歳	12～19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100歳～	合計
		4.6	58.0	62.8	64.2	72.5	83.3	88.4	94.7	92.3	94.5	91.9	74.1
4回目接種 (従来株)	465,795	・60歳以上人口約49万3千人のうち、従来株対応ワクチンによる 4回目接種率は78.8% となっている。 (単位:%)											
		5～11歳	12～19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100歳～	合計
		—	—	—	—	—	—	69.7	85.7	82.0	81.7	78.5	78.8

※ 従来株ワクチンによる4回目接種で、50代以下の接種対象者は、基礎疾患を有する方、医療従事者等に限定されているため、60代以上の接種率のみ表示。

〈 新型コロナワクチン接種 〉
 オミクロン株に対応した
 2価ワクチンの接種が開始されました。



接種可能な間隔が **3か月** になりました!

ぜひ、
年内 の接種をご検討ください。

接種の対象と使用するワクチン

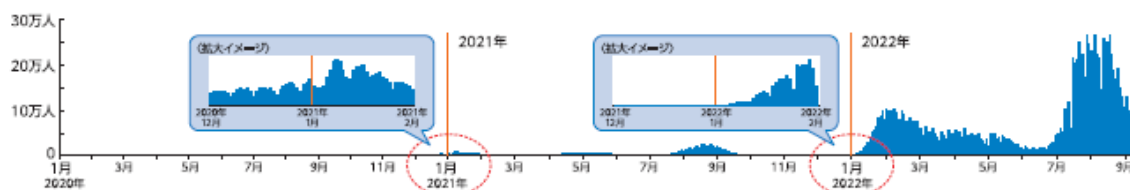
- 新型コロナの従来株とオミクロン株に対応したワクチン（「オミクロン株対応2価ワクチン」）の接種は、**初回接種（1・2回目接種）を完了した12歳以上の全ての方が対象で、一人1回接種**できます。
- 1・2回目接種を完了した、もしくは前回の接種日から3か月以上（※）経過している方は、接種可能になりました。
 （※）5か月から3か月に短縮されました。
- 例えば、9月15日に従来型ワクチンを接種した方は、12月15日からオミクロン株対応2価ワクチンを接種できます。
- 詳しくはお住まいの市町村にお問い合わせください。

〈 オミクロン株対応2価ワクチンの種類 〉	1・2回目接種対象者	3回目以降の接種対象者	
		12歳以上	18歳以上
ファイザー社ワクチン 【BA.1対応型/BA.4-5対応型】	×（使用不可）	○	○
モデルナ社ワクチン 【BA.1対応型】	×（使用不可）	×	○

（※）2022年10月時点では、オミクロン株対応2価ワクチンは、11歳以下は接種対象となりません。

これまで2年間、年末年始に新型コロナは流行しています。**2022年の年末まで**に、重症化リスクの高い高齢者はもとより、**若い方にも**オミクロン株対応2価ワクチンによる接種を完了するようおすすめします。

〈 日本国内の新規感染者数（1日ごと） 〉



出典：厚生労働省ホームページ「国内の発生状況」をもとに作成

〈 諸外国において推奨されている、オミクロン株対応ワクチンの前回の接種からの接種間隔 〉

出典：厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会資料 より

国	推奨の発表機関 (※)	推奨の発表日	前回の接種からの接種間隔
日本	厚生科学審議会	2022/10/20	3か月以上
英国	JCVI	2022/8/15	3か月以上
米国	CDC/FDA	2022/8/31	2か月以上
カナダ	NACI	2022/9/1	3か月以上
イスラエル	保健省	2022/9/20	3か月以上
フランス	保健省	2022/10/6	3か月以上
ドイツ	STIKO	2022/10/6	3か月以上

(※) JCVI：予防接種・ワクチン合同委員会
NACI：予防接種に関する諮問委員会

CDC：疾病予防管理センター
STIKO：予防接種諮問委員会

FDA：食品医薬品局

(2022年10月17日時点)

オミクロン株対応2価ワクチンの種類と効果

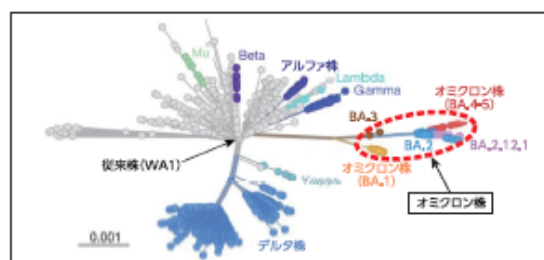
2種類の2価ワクチン (BA.1対応型 / BA.4-5対応型) が使用可能ですが、いずれも従来型ワクチン (※) を上回る効果が期待されます。

(※) 新型コロナウイルスの従来株に対応した1価ワクチン

2価ワクチンは、従来株の成分に加え、オミクロン株の成分が含まれています。オミクロン株の成分に2つの種類 (BA.1とBA.4-5) があるため、2種類のワクチンがあります。その効果は以下の通りです。

- BA.1、BA.4-5 は、いずれもオミクロン株の種類 (亜系統) です (右図参照)。そのため、**BA.1 対応型であっても、BA.4-5 対応型であっても、現在流行の中心であるオミクロン株に対しては、1価の従来型ワクチンを上回る効果が期待されています。**
- また、BA.1 対応型であっても、BA.4-5 対応型であっても、**従来株とオミクロン株の2種類の成分があることにより、誘導される免疫も、より多様な新型コロナウイルスに反応すると考えられます。**

〈 新型コロナウイルスの変異株の枝分かれ (系統樹) 〉



(※) 出典をもとに改変

出典：Wang, Q., Guo, Y., Ikezaki, S. et al. Antibody evasion by SARS-CoV-2 Omicron subvariants BA.2.12.1, BA.4 and BA.5. Nature 608, 603-608 (2022).

オミクロン株対応2価ワクチンの安全性

ファイザー社及びモデルナ社の2価ワクチンの薬事承認において、どちらのワクチンも従来型ワクチンとおおむね同様の症状が見られました。

〈 接種後7日間に現れた症状 〉

出典：特例承認に係る報告書より改変

発現割合	症 状	
	ファイザー社	モデルナ社
50%以上	注射部位疼痛	注射部位疼痛、疲労
10~50%	疲労、筋肉痛、頭痛、悪寒、関節痛	頭痛、筋肉痛、関節痛、リンパ節症、悪寒、悪心・嘔吐
1~10%	下痢、発赤、腫脹、発熱、嘔吐	紅斑・発赤、腫脹・硬結、発熱

◎ ワクチンを受けるにはご本人の同意が必要です。

ワクチンを受ける際には、感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について、正しい知識を持っていただいた上で、ご本人の意思に基づいて接種をご判断いただきますようお願いいたします。受ける方の同意なく、接種が行われることはありません。

職場や周りの方などに接種を強制したり、接種を受けていない人に対して差別的な対応をすることはあってはなりません。

◎ 予防接種健康被害救済制度があります。

予防接種では健康被害 (病気になったり障害が残ったりすること) が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすることはできないことから、救済制度が設けられています。申請に必要な手続きなどについては、住民票がある市町村にご相談ください。

新型コロナワクチンの有効性・安全性などの詳しい情報については、厚生労働省ホームページの「新型コロナワクチンについて」のページをご覧ください。

厚労 コロナ ワクチン

検索



ホームページをご覧にならない場合は、お住まいの市町村等にご相談ください。